

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	おおすみ児童発達支援センター 第2放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	令和7年2月12日		～ 令和7年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14 家族	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	令和7年2月12日		～ 令和7年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	全員特別支援学校の子供たちなので、帰って来る時間が同じなため、職員・子供達と一緒に活動が始められる。	プログラムも同じ時間に区切っておやつ時間・集団活動・個別活動を行っている。	おやつ後の時間の後15分程度、集団活動を取り入れ、みんなで体操したり・ダンスしたり制作できる時間を作る。
2	定員に対して職員の数が多いので、手厚い支援が行えている。	活動ごとに職員を配置でき、個別に支援が必要な子供にも職員が一人就くことが出来るので、支援の幅を広げることが出来る。	職員研修や勉強会に参加したり、資格獲得を目指す事で、職員の質の向上を図る。
3	同じ系列に、保育園・学童・センター・就労事業所・相談支援・高齢者施設等があるため、他種別の方々との交流や就労体験等を行える。	就労体験に子供達を連れて行ったり、敬老の日に慰問に行ったり、保育園の運動会やお遊戯会を見に行ったり、活動に参加させてもらっている。	今まで以上に、交流したりしていけるように、計画をしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族同士や地域との交流があまりなく、横のつながりがあまりもてていない。	案内を出しても、仕事の都合で来れない家族が多い。案内をもう少し早く出してみる。	祝日を利用して、家族参加型の親子遠足やバーベキュー等を企画して早めに家族に案内を出せるようにする。地域との交流では、近隣の保育園・センター等と一緒に避難訓練等が行える場を作る。
2	他事業所との交流等があまり出来ていない。	同じ事業所での交流をしているので、他の事業所との交流が行えていない。	他事業所との交流が行えるように、他児発管との交流をもつと作り長期休み等に交流できる場を作っていく。
3	事業所内に遊べる場所がなく、子供達が思う存分走り回ることが出来ない。	近くの公園に行くこともあるが、遊べる時間も限られていたり、他の子供達がいるとなかなか一緒に遊ぶことが難しい。	隣に大きな広場があるので、その地主さんと話をし、遊び場として利用できないか検討・交渉していく。